J R 四国 労組 ニュース

令和3年2月19日 (No.12/1)

発行責任者/大谷 清

編集責任者/武智 義治

「効率化施策等」経営協議会開催

J R 四国 労組は、2月15日に開催された経営協議会において「2020年度効率化施策等について」説明を受けた。

冒頭、会社側より「今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により会社発足以来最大の危機的状況にあるが、中期経営計画の最終年度として、安全の確保を第一に、四国における基幹的公共輸送機関としての使命を果たすとともに、将来に向けて持続可能な経営体質の構築を目指し、経営改善に取り組んできたところである。」との考え方が示された。その後、各部より効率化施策等について説明がありこれらについて協議を行った。

【2020年度効率化施策等について】

1 営業部関連

- ・ダイヤ改正に伴い、一部の駅において勤務種別や営業時間を変更する。
(別紙-1 参照)
- ・アシストマルスを2021年度中に追加導入し出札業務の効率化を図る。
(別紙-2 参照)
- ・ワープ徳島支店徳島県庁内営業所を廃止する。
(別紙-3 参照)

2 運輸部関連

- ・高松～観音寺・琴平間で運転している「信用降車型ワンマン運転」を観音寺～伊予西条間でも実施し、運転本数を39本から53本に拡大する。
- ・松山運転所においてエキスパート運転士の専用交番を新設する。
- ・車掌の労働時間調整を目的とした重複乗務の解消を実施する。
- ・高松車掌区において野球部社員を対象とした短時間行路を新設する。

3 工務部関連

- ・工事情報共有システムを導入し、土木関係業務の効率化を図る。

【取扱収入実績及び純収入実績の最近の動向について】

(別紙-4 参照)

J R 四国労組ニュース

令和3年2月19日（No.12/2）

発行責任者／大谷 清

編集責任者／武智 義治

<説明に対する主な質疑（要旨）>

【営業部関連】

組合：駅・ワープの要員需給が厳しいことに加え、人を介さない販売方式が浸透・定着していることを鑑みると、アシストマルスの追加導入による効率化の必要性は認識するが、組合員の雇用の確保についてどのように考えているのか。

会社：会社としても雇用の確保を第一に考えているが、今回の効率化では、近隣の職場を提示できない箇所もあることから、グループ会社の斡旋も含めた雇用の確保を考えていきたい。

【運輸部関連】

組合：松山運転所においてエキスパート運転士の専用交番が新設されることだが、多様な働き方を実現する観点から他箇所へのさらなる拡大に加えて、車掌への拡大に向けても検討すべきである。

会社：エキスパート運転士の専用交番はある程度の母数が必要となることから、他箇所への導入は今後の状況を見ながら検討していきたい。車掌への短日数勤務制度の導入については、勤務体系や運用効率の低下等の関係から、運転士と同様の運用は困難な状況であるが、多様な働き方の実現は、乗務員の定着率向上の観点からも必要であると認識している。

組合：車掌の労働時間調整を目的とした重複行路の解消とは、どのようなことを行うのか。

会社：乗務行路を見直し、可能な範囲で同一列車に複数名の車掌を乗務させないような行路とした。

組合：先日公表された支援策を活用し、省力化・省人化に資する取り組みの一環として、乗務員に業務用タブレットを携行させるべきである。規程類がデジタル化され乗務員カバンが軽量化される他、これまで無線機を介して行っていた着線変更などのやりとりを、メール送信に変更することにより、情報を正確かつ迅速に周知できるようになると考えられる。

会社：今回の支援策の具体的な用途は現時点明らかになっていない。業務改善やサービス向上等を図るツールとして業務用タブレットの導入は有効だと考えるが、導入については現在使用している業務用機器の見直しのタイミング等も考慮しつつ今後検討していきたい。

【工務部関連】

組合：工事情報共有システムとは、どのようなシステムなのか。

会社：工事打合せ簿などの工事帳票や工事写真、進捗状況などの情報を、インターネットを介して関係者間で共有し、施工管理業務の効率化を図るシステムである。

J R 四国労組ニュース

令和3年2月19日（No.12/3終） 発行責任者/大谷 清 編集責任者/武智 義治

また、昨年12月31日に発生した、土讃線「朝倉～枝川間啞内橋りょうからの犬クギ落下」について、申し入れに対する回答があった。

【発第65号 土讃線「朝倉～枝川間啞内橋りょうからの犬クギ落下」について】

1 今回の事象をどのように受け止めているのか明らかにされたい。

今回の事象については、一步間違えれば一般公衆に被害を与える可能性があった重大な事象として認識しています。

橋りょうからの犬クギ落下事象は、2013年に土讃線三縄・祖谷口間祖谷街道橋りょうにおいて発生しており、人や車が橋りょう下を通行している橋りょうについて緊急点検を実施し、巡回時には特に入念に点検することとしておりました。また、今年度は8月に高德線吉成・佐古間吉野川橋りょうからの金具落下、10月に予讃線坂出高架橋からの看板落下と同種事象が発生しております。

今回の事象は構造に課題もあったことから、橋りょう下に落下しない構造に変更するとともに、同種事象の再発防止のため、巡回時の点検精度の向上に取り組むことが重要であると考えます。

2 犬クギが落下した原因を明らかにされたい。

横桁上に設置するため通常よりも厚さを薄く加工したマクラギと長さを短く加工した犬クギを使用したことで、犬クギの引抜抵抗力が不足しており、列車走行に伴う振動により抜け出し、防塵板の隙間から落下したものと考えています。

3 今後の再発防止に向けた点検体制や実効性ある対策等について明らかにされたい。

犬クギを短く加工する必要がある箇所では、ネジクギを使用することにより引抜抵抗力を増強し、落下しない構造にすることを原則とすることを対策とし、本対策が困難であり、かつ、防塵板の隙間からの犬クギ等の落下が公衆安全性を損なう恐れがある箇所については、隙間を防ぐ処置を施すこととしました。

また、人や車が橋りょう下を通行している橋りょう上のボルト類の点検は入念に行うよう再周知しています。

今回の事象による被害はなかったが、現場となった橋りょうの下は人や車両が頻繁に通行する場所であり、一步間違えれば重大事故につながる恐れのある事象であった。

J R 四国労組は、尊い人命を預かる J R に対する社会の関心度や、厳しい視点を認識し、高い規範意識のもと「安全へのチェック機能」を強化する運動を展開する。

以上

ダイヤ改正に伴う駅の効率化等について

2021年2月

J R 四 国

以下のとおり、ダイヤ改正に伴う駅の効率化等を行います。

1 駅業務体制の見直し

勤務種別の見直し

①伊予三島駅

社員の貨物Bの勤務種別を変形8bから日勤2種に見直します。

契約社員の出改札Cの勤務種別を変形7aから変形6bに見直します。

②引田駅

社員の勤務種別を変形1aから変形1bに見直します。

社員の勤務種別を変形3aから変形3bに見直します。

③今治駅

社員の出札の勤務種別を隔日2Aから変形7bに見直します。

④松山駅

社員の出札B（隔日1A）を廃止します。

契約社員の出札2（変形5a）を新たに設定します。

契約社員の改A（日勤2種）を廃止します。

社員の改A（隔日2A）を新たに設定します。

契約社員の改B（日勤2種）を廃止します。

契約社員の改5（日勤2種）を新たに設定します。

その他、一部駅において営業時間の若干の変更はありますが、要員等について、見直しはありません。

2 実施時期

2021年3月13日

現改比較表

1 勤務種別の見直し

駅名	現行				改正				労働時間 増減
	担務	勤務 種別	労働 時間	始終業 時刻	担務	勤務 種別	労働 時間	始終業 時刻	
伊予三島駅	社員 貨物B	変形8b	11:00	6:40 19:40	社員 貨物B	日勤2種	7:35	11:05 19:40	△3:25
	契約社員 出改札C	変形7a	10:00	8:00 19:00	契約社員 出改札C	変形6b	9:30	6:45 17:15	△0:30
引田駅	社員	変形1a	4:00	6:40 10:40	社員	変形1b	4:30	6:25 10:55	0:30
	社員	変形3a	6:00	14:50 21:35	社員	変形3b	6:30	14:25 21:40	0:30
今治駅	社員 出札	隔日2A	15:10	8:50 8:50	社員 出札	変形7b	10:00	8:20 20:20	△5:10
松山駅	社員 出札B	隔日1A	15:10	8:50 9:20	—	—	—	—	△15:10
	契約社員 出札1	変形5a	8:00	8:50 17:50	契約社員 出札1	変形5a	8:00	7:30 16:05	—
	—	—	—	—	契約社員 出札2	変形5a	8:00	11:35 20:10	8:00
	契約社員 改A	日勤2種	7:35	7:00 15:35	—	—	—	—	△7:35
	—	—	—	—	社員 改A	隔日2A	15:10	8:50 9:20	15:10
	契約社員 改B	日勤2種	7:35	13:25 22:00	—	—	—	—	△7:35
	—	—	—	—	契約社員 改5	日勤2種	7:35	12:25 21:00	7:35
								社員計	△7:35
								契約社員計	△8:05

2 窓口営業時間の見直し

駅名	現行				改正				労働時間 増減
	担務	勤務 種別	労働 時間	窓口営業 時間	担務	勤務 種別	労働 時間	窓口営業 時間	
伊予三島駅	窓口営業	—	—	6:50 19:30	窓口営業	—	—	6:50 <u>19:10</u>	—
今治駅	窓口営業	—	—	5:15 22:00	窓口営業	—	—	<u>8:30</u> <u>20:00</u>	—
卯之町駅	窓口営業	—	—	6:45 15:30	窓口営業	—	—	<u>6:25</u> <u>15:10</u>	—

2021年度に実施する駅の効率化施策について

2021年2月
JR四国

今後、駅の要員需給は更なる逼迫が予想され、現行の駅（ワーププラザを含む）営業体制を将来にわたって維持することは困難です。一方で、世間では技術の進歩や時代背景の変化もあり、機械化やインターネット化による人を介さない販売方式が浸透しつつあります。そこで、持続可能な駅の営業体制の構築に向け、「アシストマルス」の導入によるサービス水準を維持した出札業務の効率化や一部駅のワーププラザ廃止、契約社員化駅の曜日休日化等の各種効率化について今後数年間で進めていきたいと考えております。

については、2021年度の実施内容を以下のとおりとし順次効率化を進めてまいります。

1. 社員配置駅におけるアシストマルス導入及び出札窓口の削減（7駅）

取扱収入が契約社員化駅の上位とほぼ同格の7駅について、マルスをアシストマルスに置き換えることで、出札担当要員の削減を行い、改札業務のみを行うこととする。

対象駅	改札時間	導入・効率化時期
宇和島、志度、穴吹、琴平、阿波池田、後免、須崎	既存社員を活用するため、改札時間は従来どおり	【導入】21年10月以降 【効率化】導入2ヶ月後

2. 契約社員化駅におけるアシストマルス導入及び改札専門1人体制化（5駅）

契約社員化駅のうち取扱収入が上位の駅で現在2名/日が出改札業務を行っている7駅について、マルスをアシストマルスに置き換えることで、現在2名体制としている営業体制を1名体制とし、改札業務のみを行うこととする。

対象駅	改札時間	導入・効率化時期
川之江、壬生川、伊予大洲、栗林、土佐山田	概ね7:00前後～18:40前後 (中間に休憩2時間)	【導入】21年10月以降 【効率化】導入2ヶ月後

※新たに増えた無人時間帯の集札は乗務員対応とする。

3. 契約社員化駅におけるアシストマルス導入及び曜日休日化（4駅）

契約社員化駅のうち取扱収入が中位の駅で現在1名/日が出改札業務を行っている4駅について、マルスをアシストマルスに置き換えることで、きっぷ購入の利便性を確保・向上しつつ、改札時間についてはおおむね2時間ほど短縮し、かつ曜日休日化とする。

対象駅	改札時間	導入・効率化時期
内子、三本松、鴨島、朝倉	概ね7:00前後～15:30前後 (中間に休憩1時間) ※土・日曜日、祝日は休業	【導入】21年10月以降 【効率化】導入2ヶ月後

※新たに増えた無人時間帯の集札は乗務員対応とする。

4. 無人駅化（1駅）

卯之町駅については現在西予市が整備している駅周辺事業において駅舎建替を行うため、現駅舎の解体時期に合わせて無人駅化する。なお、きっぷ販売の業務委託について現在西予市と協議を行っている。

対象駅	きっぷ販売	無人化時期
卯之町	西予市への業務委託 について協議中	2021年度中

※集札は乗務員対応とする。

※無人化時期は現駅舎の解体時を予定（解体時期は西予市と協議中）。

5. アシストマルス導入概要

- ・コールセンターは JR 西日本に委託する。(コールセンター所在地は兵庫県尼崎市)
- ・営業時間は、現行の出札営業時間から大幅に拡大し利便性を向上させる。
(特急列車の出発時間等を考慮し決定している。)

稼働時間 (案)

駅名	アシストマルス稼働時間	現在のみどりの窓口営業時間
川之江駅	5:00~23:55 (6:00~21:00)	7:00~19:10
壬生川駅	5:30~23:55 (5:30~20:30)	6:50~18:35
内子駅	5:30~23:55 (6:00~20:00)	7:20~17:00
伊予大洲駅	5:00~23:55 (6:00~20:00)	7:00~18:00
宇和島駅	5:00~23:55 (6:00~20:00)	5:15~21:20
栗林駅	5:00~23:55 (6:00~21:30)	7:00~19:00
志度駅	5:00~23:55 (6:00~21:30)	7:00~17:30
三本松駅	4:30~23:55 (6:00~20:00)	7:00~17:30
鴨島駅	5:30~23:55 (6:30~20:00)	7:00~15:30
穴吹駅	5:30~23:55 (7:00~20:00)	7:00~18:30
琴平駅	5:00~23:55 (6:00~21:00)	7:10~19:00
阿波池田駅	5:00~23:55 (5:30~21:00)	5:45~21:00
土佐山田駅	4:30~23:55 (5:30~20:00)	7:00~17:40
後免駅	4:30~23:55 (5:30~20:00)	6:30~18:45
朝倉駅	5:00~23:55 (6:00~20:00)	7:10~17:30
須崎駅	5:00~23:55 (6:30~20:00)	5:25~20:35

※ () は、コールセンターのオペレーター対応時間

- ・コールセンター係員習熟等のため、2ヶ月程度は出札係員(マルス)とアシストマルスを併存させる。
- ・アシストマルス設置後のコールセンター接続開始日は JR 西日本と調整中。

6. 今後のスケジュール

4月頃 契約社員へ通知、希望を聞いた上で配転等調整

※なお、プレスについては関係会社等と調整の上実施します。

ワープ支店の効率化について

2021年2月
J R 四 国

今後、駅・ワープの要員需給は更なる逼迫が予想され、現行の駅（ワーププラザを含む）、ワープ支店による営業体制を将来にわたって維持することは困難です。一方で、世間では技術の進歩や時代背景の変化もあり、インターネット化による人を介さない販売方式が浸透しつつあります。

ワープ徳島支店徳島県庁内営業所は、徳島県庁職員の出張等手配を受注する目的で会社発足から営業を行ってきましたが、今後収益の回復が見込まれないため、以下のとおり店舗を廃止いたします。

1. 廃止店舗

ワープ徳島支店徳島県庁内営業所
所在地：徳島県徳島市万代町1-1
営業時間：9:00～17:00（土日祝休業）

2. 廃止理由

- ・新型コロナウイルス感染拡大により出張が大幅に減少し売上が大きな打撃を受けている。
- ・収益の約50%を占める航空会社商品のうち、主力商品であるJAL商品（航空券と宿泊のパッケージ商品）は2021年度末に代理店における販売ができなくなる。

以上により今後収益の回復が見込まれないため。

3. 廃止日

2021年9月30日をもって廃止

4. 今後のスケジュール

2021年3月 入居先の徳島県職員生活協同組合へ契約解除通知
4月頃 契約社員へ通知、希望を聞いた上で配転等調整

別紙－４

取扱収入実績及び純収入実績の最近の動向について

2021年2月
J R 四 国

1 取扱収入実績（2月速報値）

2020年度取扱収入（速報値）は、2月9日現在で13,124百万円、対前年40.5%（△19,282百万円）となっている。

（単位：百万円）

	2019年度		2020年度			
	2月実績	累計	2月実績	前年比	累計	前年比
定期	64	4,031	57	88.9%	3,406	84.5%
定期外	681	28,375	227	33.4%	9,718	34.3%
合計	745	32,406	284	38.1%	13,124	40.5%

※2月9日現在の実績（速報値）

2 純収入実績（12月実績）

2020年度鉄道運輸収入は、12月末で8,958百万円、対前年49.5%（△9,136百万円）となっている。

（単位：百万円）

	2019年度		2020年度					
	12月実績	累計	12月実績	前年比	累計	前年比	計画値	計画比
定期	344	3,401	309	89.9%	2,843	83.6%	14,683	41.7%
自社完結	672	6,269	377	56.1%	3,152	50.3%		
四国発売・他社関連	393	3,738	129	32.8%	1,155	30.9%		
他社発売・四国関連	565	4,687	203	35.8%	1,808	38.6%		
合計	1,974	18,095	1,018	51.6%	8,958	49.5%	18,039	49.7%

※小数点以下四捨五入の関係で、合計が合わない場合あり。